



校報

わきいち

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

<https://edu.city.oga.akita.jp/wakiichi-es/>

和合協力

気力体力

意志強固

知識探求

創立 明治8(1875)年

光の春、音の春

まだ、真冬が続いていた天皇誕生日の晴れ間、外に出ると眩しさにしばらく目が慣れませんでした。鉢植えのクロッカスはすでに花が咲き、植物は光の春を敏感に感じ取っています。校内では、6年生ありがとう集会で歌う「ベストフレンド」が朝の歌で流れています。コロナ禍で大きな声は出せませんが、卒業が近付いていることを実感します。同時に、子ども一人一人が、自分の成長を感じ取り進級の喜びを感じる1ヶ月を迎えます。

2月のキャリアコーナーには、この1年間で、できるようになったことやがんばってきたことが具体的に書かれています。高学年ではスポ少や習い事に関する内容が多くなり、できる範囲で努力を続けている様子が伝わってきます。また、自分の成長のため自ら変わろうとがんばっている姿も表れていて、子どもたちのたくましさを感じます。



6年の外国語科では「中学校で楽しみたい行事について伝えよう」と題し、英語の授業を通して進学への期待が膨らむような学習が行われました。

◇PTA学年懇談へのご出席

ありがとうございました

男鹿市においても新型コロナウイルス感染症が広がりを見せています。個別の正確な情報は入ってきませんが、欠席の連絡や問い合わせの中で感染のリスクが高まっていることを感じます。

そのような状況を鑑み、年度末のPTA授業参観及び全体会、学校保健員会は中止としました。各学級で作品展や、家庭学習のノート展、キャリアコーナーなどで、少しでもお子さんの成長を感じ取っていただけたでしょうか。



家庭学習
ノート展

全員のノートが展示されています。ノートの使い方や書き方を参考にしようとする学年もありました。

◇令和3年度PTA役員の皆様

ご協力どうもありがとうございました

学級懇談では新年度のPTA役員についても話し合わせ、21日までに執行部役員候補と学年役員の選出が終わっています。今年度もコロナ禍の影響を最も強く受けたのがPTA活動でした。難しい運営となる中、ご協力くださいました令和3年度の役員の皆様に深く感謝申し上げます。

◇2月のキャリアコーナーから

「できるようになったこと、がんばってきたこと」

- ・「ん」と「ま」をじょうずにかけるようになりました。(1年 ○○○○)
- ・よいしせいができるようになった。べんきょうのこくごがとくいになった。(1年 ○○○○)
- ・前は、なわとびがとべませんでした。でも、家や体育で練習して、上手にとべるようになりました。(2年 ○○○○)
- ・わたしができるようになったことはてつぼうです。2年生になって、いろいろなわざができるようになりました。(2年 ○○○○)
- ・わたしがこの1年でできるようになったことは、音楽でリコーダーをふけるようになったことです。後期は、「あの雲のように」をふけるようになりました。(3年 ○○○○)
- ・私がこの1年間でできるようになったことは、空中逆上がりです。毎日休み時間にタオルを使ってたくさん練習をしたら、できるようになりました。他のわざもできるようにがんばりたいです。(4年 ○○○○)
- ・私がかんばっていることは、自分に自信をもてるようになることです。1年生や2年生のころは、自分に自信がなくて意見をはっきり言えなかったけど、5年生になってからは、少しでも自信をもてるように、委員会などで自分の意見を言うようにしています。(5年 ○○○○)
- ・この1年で、私は発表することが多くなりました。手をあげるのがこわかったけど、勇気を出してあげることができました。これで、私の夢である「積極的」に少しでも近づいたと思います。(6年 ○○○○)

第5回学校運営協議会の話から

今年度5回目の学校運営協議会が開催されました。学校評価アンケートの結果や1年間の教育活動の説明を基に、委員の皆様からは学校関係者評価をしていただきました。

紙面の都合上一部要約してご紹介いたします。

★確かな学力の育成

学び合う楽しさを実現する教育活動の充実

- ◆対話を大切に多様な学習活動を実行することが評価につながるとしています。学習する意欲を子どもたちがもてるように、よろしく願いいたします。学びが楽しいと思えることが一番かと思っています。
- ◆指導の手だてがよく工夫され、一人一人の児童が楽しく学習活動に取り組んでいます。基礎となる国語の力の育成を今後も続けてほしいと思います。
- ◆授業が分かりやすく、楽しく学習しているのが感じられ、授業に対する工夫がうかがえます。
- ◆具体的な取組の達成率が70%~90%は素晴らしい結果だと思っています。感染予防対策を継続し、さらなる学習活動の充実を目指すことを期待しています。
- ◆子ども同士の話合いを大切に学習を進めているとのこと、子どもたちと接していてそんな姿をよく目にします。日常の中で、しっかり育まれ、考える力が養われていると感じています。

★豊かな人間性の育成

豊かな心を育てる教育活動の充実

- ◆なかよし班活動、学校行事など、子どもたちが仲よく交流して活動する姿が見られたことは、子どもたちの成長の姿だったと思います。コロナ禍で失われている経験や、今後必要とされる体験を考える必要がありそうです。
- ◆コロナ禍で制約されることの多い教育活動の中でも、一人一人に役割を持たせるなどして、人間性を育てるために、全職員で心をつなげて指導にあたっておられます。
- ◆自己有用感と自己肯定感を作り出すことは、将来の夢や目標につながるため、引き続きいろいろな機会を与えてください。
- ◆コロナ禍の中で、人との程よい距離の取り方や接し方など、現在の環境だから学べるものをしっかり身に付け、自他を認める優しさと強さをもってほしいと思います。

- ◆セカンドスクールの利用で、障害者スポーツを体験する機会をつくってくれてありがとうございました。共生社会を実現するために、子どもたちがより実感を伴って学ぶということが大切だと思います。



- ◆自然との関わりによって、より豊かな感性が育つと思っています。脇一小には素晴らしい「いこいの森」があり、また、脇本地域の熱心に協力してくれる方々や、一人一人を大切にしてくれる先生方に恵まれ、子どもたちはよい環境の中にいると思います。

★たくましい心と体の育成 心通う生徒指導と健康で安全な生活を実現する教育活動の充実

- ◆保護者アンケートからの意見を、もっと保護者とともに解決できたらと思います。皆で話し合い、お互いを知らながらよくしていく必要があると思うので、学校だけに任せるのではなく保護者との連携が必要だと思います。
- ◆目標達成に対して保護者の評価も高いようです。家庭の役割も示し、地域共々連携し合って、心と体の育成に取り組んでいきたいものです。地域の一人として、子どもたちに声かけをし見守っていききたいと思います。
- ◆前回も挙げましたが、小さいけがは原因を究明し大きくならないよう再度確認してください。
- ◆なわとび運動を取り入れたことによって、他のスポーツの向上につながるため、体力づくりにたいへんよいことだと思います。
- ◆コロナ禍で運動の機会も減少せざるを得ない中、体力づくりもたいへんだと思います。まずは健康第一！。コロナに負けずに、がんばってほしいと思います。
- ◆コロナ禍で子どもたちが安心して通えていることが素晴らしいと思う。
- ◆不登校やいじめの案件は、学校全体で取り組んでいってほしい。
- ◆大人でも人との関わりの中で、「いやな思い」に出合う場面があります。自分が「いやだな」と思ったことは、人にも「やらない、言わない」。体にも心にも、免疫を蓄えて、そこにいるみんなが楽しく過ごせる術を学んでいってほしいと思います。

おめでとうございます

★令和3年度男鹿市スポーツ賞

<栄光賞(団体)>

◎脇本おいばな・船川くじらっこラグビースクール

<奨励賞(団体)>

◎脇一野球少年団・潟西野球スポーツ少年団

◎グロースフットボールクラブ

◎男鹿ユナイテッドFC

<奨励賞(個人)>

◎○○○○○(柔道) 4年

脇一小草刈り協力隊募集

広い敷地の本校ですが、春から夏にかけては除草が追いつかず、授業や行事開催に支障が生じかねない状況となります。学校運営協議会でこのことについて話し合い、地域ボランティアとして「草刈り協力隊」を募集することといたしました。募集方法は次回の校報「わきもと」でお知らせいたしますので何卒ご協力をお願いいたします。